

50音順

6年A漢字「専」指導対象漢字語候補検討資料

2022年9月10日

小学校国語教科書は2020年版

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u
読み 赤字：基本語イ		表記 (異表記)	学年 配当	意味	類義・ 対義・関連 の語	語構成	品詞	語種	国字研 プリント	学習論 理語イ 一覧表	批判読 み 教育基 本語イ 赤字小	児言 研 教育基 本語イ 赤字小	阪本 語イ表 赤字 小I	幼 児 言 語	光村	教出	東書	学図	三省堂 例解小学 国語辞典	常用漢字 表 語例欄
(中)中学校段階指導 音訓 (高)高校段階指導音 訓		△表外訓 ×表外字 ●2010年追加	○常用漢 字 ○数字:配 当学年			赤字 並列語			赤字 該当語						赤字初出本文 黒字巻末付表など				赤字 重要語句	青字 当該欄の 語
1	せんいつ	専一	①	A	*ご自愛専一 に	専＝一	名	漢語					中学2							
2	せんおう	専横	③	B	*専横なふる まい	専＝横	名	漢語					中学4							専横
3	せんか	専科	②	A		専→科	名	漢語	音楽の専科 の先生											
4	せんぎょう	専業	③	A	↔ 兼業 *専業農家	専←業	名	漢語											専業	
5	せんこう	専攻	○	A	*専攻科目	専←攻	名・他サ変	漢語					中学1						専攻	専攻
6	せんこう	専行	②	B	*独断専行	専←行	名・他サ変	漢語												
7	せんしゅう	専修	⑤	A	*専修学校	専←修	名・他サ変	漢語												
8	せんじゅう	専従	⑥	A		専→従	名・自サ変	漢語												
9	せんしん	専心	②	A	≡専念・傾注 *一意専心	専←心	名・自サ変	漢語					中学1						専心	
10	せんせい	専制	⑤	B	*専制君主 *専制政治	専←制	名	漢語					中学3×							
11	せんぞく	専属	⑤	A	*専属歌手	専→属	名・自サ変	漢語					中学1				専属		専属	専属
12	せんだん	専断	⑤	B		専→断	名・他サ変	漢語					中学4							
13	せんにな	専任	⑤	A	↔ 兼任 *専任歌手	専→任	名・他サ変	漢語					中学2						専任	
14	せんねん	専念	④	A	≡専心・没 頭・熱中	専←念	名・自サ変	漢語					中学1				専念		専念	
15	せんばい	専売	②	B	*専売特許	専→売	名	漢語					中学1						専売	
16	せんむ	専務	⑤	A	*専務車掌・ 専務取締役	専→務	名	漢語					中学3						専務	
17	せんもん	専門	②	A		専←門	名	漢語	洋裁を専門 にしている			小A	小高1				海獣を専 門にみる 獣医師		専門	専門

18	せんもんか	専門家	②②	A			名	漢語	ケーキ作りの専門家						専門家	専門家の意見		専門+家	専門家	
19	せんゆう	専有	③	B	・共有 ≡独占 (同音)占有	専←有	名・他サ変	漢語					中学4〇			専有				
20	せんよう	専用	②	B	↔ 兼用 ↔ 共用	専→用	名・他サ変	漢語	算数の専用のノート				中学I	燃えるごみ専用のごみ箱	専用	専用	専用	専用	専用	専用
21	もっぱら (中)	専ら		AB			副	和語					小高I						専ら	専ら

凡 例

語構成

専→□	(副詞) もっぱら→□／(形容詞) もっぱら→□
専←□	(動詞) もっぱラニス←□ヲ

音訓

常用漢字表の音訓
セン
もっぱら

当用漢字音訓表の音訓
セン
1973年の改定で「もっぱら」が追加された。

意味区分

国字研プリントの分類をもとにA・Bと2分した。国字研プリントは、別ファイル「専」の「授業実践記録」P.21に掲載。

原義	不明(甲骨文からある)
本義	諸説あり確定できない
A	それだけをひとすじにおこなう 〈専一である・単一である〉〔ひとつに集中する・いちずに・もっぱら〕 〈特別の・専用の・専門的な〉(あることだけを行う・ほかのことをしてはいけない)
B	ひとりじめにする (自分だけのものにする) 〈独占する・もっぱらにする〉(自分だけの判断で勝手に行う)
派生義 C	「専門学校」の略

「専」(旧字：專)を構成要素とする漢字

専	傳	(伝の旧字)	・	轉	(転の旧字)	・	團	(団の旧字)
専	博④	薄○	簿○	縛○				
「専」と「專」は字源が異なる。								

b 読み 候補漢字語の読みをひらがなでしめし「見出し語」とした。
j k l m n欄にある語を「基本語イ」とし、この欄で赤字でしめした。
(中) 中学校段階で指導する音訓。
(高) 高等学校段階で指導する音訓。

d 学年配当 「学年別漢字配当表」における小学校の配当学年を○数字でしめした。
小学校学習漢字以外の常用漢字は「○」とした。

e 意味 候補漢字語のおおまかな意味の下位分類を区分した。

f 類義・対義・関連の語
≡類義の語，↔ 対義の語，⇔ 異字同訓

g 語構成 二字漢語の構成を記号でしめした。
表作成者の見解で、並列語を「＝」（類義のならび），「↔」（対義
のならび）とし赤字でしめした。修飾関係の語を「→」とした。

j 国字研プリント 漢字指導法研究会の会員著作の『たのしくみにつく漢字の力』（ルッ
ク刊,2007年）でつかわれている語を赤字でしめした。

m 児言研教育基本語イ
小A：小学校段階で特に大切な語い
小B：小学校段階でA語に続くもの
中A：中学校段階で特に大切な語い
中B：中学校段階でA語に続くもの

児童言語研究会が1962年に作成した「児言研国語科教育基本語い・第
一次試案」に掲載されている語のうち該当の漢字をふくむ語について赤
字でしめした。
大久保忠利・松山市造・近藤徹編『言語要素指導』国語教育の体系化Ⅰ
（明治図書，1962年）所収。

k 学習論理語イ一覧表（「専」は該当しない）
l 批判読み教育基本語イ（「専」は該当しない）

n 阪本語イ表 阪本一郎が中心となって1958年と1984年にとりまとめた教育基本語
彙のうち該当の漢字をふくむ語を記号でしめした。
小低□：小学校第1～第3学年
小高□：小学校第4～第6学年
中学□：中学校
□の部分は優先順位，最優先を1とし、つづいて2，3，4の順とし
ている。
1984年版で削除されたものには×，追加されたものには○，移動が
あったものは△・▽をほどこした。1958年版の作成には，児童言語
研究会元委員長・国字研元会員の松山市造（元・学習院初等科）がく
わわった。

o 幼児語イ（「専」は該当しない）